

——部を漢字（送りがないがある場合は送りがないも）になおし横に書きなさい。

(1219)	(1217)	(1215)	(1213)	(1211)	(1209)	(1207)	(1205)	(1203)	(1201)
インテリアにこる	かんせいな住宅街	不正問題をいんぺいする	もうれつな風と大雨におそわれる	友人を家にとめる	えど時代のとのさま	やる気をうばう言葉	ごはんをたく	古くおもむきのある駅	ねんざした足首がはれる
(1220)	(1218)	(1216)	(1214)	(1212)	(1210)	(1208)	(1206)	(1204)	(1202)
消防救急の無線つうしんもう	はばの広い道路	心をいやす	ネコ科のもうじゅう	罪をつぐなう	けししょうがこい	ぼんのうに打ち勝つ	戦争でこうはいした街	さいきんによる食中毒	きげんが良い

——部を漢字（送りがながある場合は送りがなも）になおし横に書きなさい。

(1239)	(1237)	(1235)	(1233)	(1231)	(1229)	(1227)	(1225)	(1223)	(1221)
だいこんをやわらかくにする	たばうを極める	じんだいなひがい	しもが降りる	もに服する	でいたんちを開発する	すいとうに麦茶を入れる	敵をあなどる	興味のおもむくままに行動する	あくりょうにとりつかれる
(1240)	(1238)	(1236)	(1234)	(1232)	(1230)	(1228)	(1226)	(1224)	(1222)
ふちなしメガネ	友人の家で年をこす	ごいの豊富な人	けいがいかした制度	文書の行間をせばめる	なげかわしいじょうきょう	しらがぞめの専用シャンプー	おおさかふにある国立大学	運動神経がにぶい	ななめ前の席

——部を漢字(送りがながある場合は送りがなも)になおし横に書きなさい。

(1259)	(1257)	(1255)	(1253)	(1251)	(1249)	(1247)	(1245)	(1243)	(1241)
げんかんに絵をかざる	スカートのすそ	とこの間にかけてじくをかける	ヒョウの体表のはんてん	やよい時代	いんぼうをくわだてる	地域一帯をしようあくする	祖父の死をくやむ	いだいな画家	三角フラスコをせんじょうする
(1260)	(1258)	(1256)	(1254)	(1252)	(1250)	(1248)	(1246)	(1244)	(1242)
ゆずを湯船にうかべる	悲しみにしずむ	何度失敗してもこりない	にくらしい態度	密林でとらにそうぐうする	四十才の若さでいった先生をしのぶ	ていかんの境地に達する	野球とばくがてきはつされる	心がゆさぶられる	本性を知ってげんめつする

——部を漢字（送りがないがある場合は送りがないも）になおし横に書きなさい。

(1279)	(1277)	(1275)	(1273)	(1271)	(1269)	(1267)	(1265)	(1263)	(1261)
不徳のいたすところ	フェンスにからんだバラ	かみなりが鳴る	たんていに調査をいらいする	はすうを切り上げる	大会社の下うけ工場	相手をやりこめる	目標をかかげる	教え子のがんばりをほめる	かへいをちゅうぞうする
(1280)	(1278)	(1276)	(1274)	(1272)	(1270)	(1268)	(1266)	(1264)	(1262)
らいひんのあいさつ	けんばんハーモニカで演奏する	子どもをあまやかす	あせでしめった下着	金づかいがあらい	村人からいみきらわれている	認識にへだたりがある	せいやくしよに記入おういんする	異国じようちよあふれる町	ボールがはずむ

——部を漢字(送りがながある場合は送りがなも)になおし横に書きなさい。

(1299)	(1297)	(1295)	(1293)	(1291)	(1289)	(1287)	(1285)	(1283)	(1281)
周囲をおどろかせる	周辺にえいきょうがおよぶ	仕事に行きづまる	建物をこわす	あわれな話	仏にきえする	周りの人にあやしまれる	愛情にうえている	ほうけんてきな考え方	中身がすけて見える
(1300)	(1298)	(1296)	(1294)	(1292)	(1290)	(1288)	(1286)	(1284)	(1282)
雪の上に残る足あと	負けおしみを言う	しゅううんによって栄えた港町	かん高い声	木がたおれる	責任のついきゅうをのがれる	雨もりを修理する	しょうさいは追ってれんらくする	かの子編みのセーター	たがいに声をかけ合う

——部を漢字(送りがない場合)は送りがないも)になおし横に書きなさい。

(1319)	(1317)	(1315)	(1313)	(1311)	(1309)	(1307)	(1305)	(1303)	(1301)
けいやくをていけつする	飛行機がせんかいする	お客様がめし上がる料理	水田やこしょうに生息する水鳥	海の底にしずめる	きぼうが入った美しいガラス	ぞうおの念をいだく	そう身のための運動と食事制限	実家にしんせきが集まる	いもののでつびんで湯をわかす
(1320)	(1318)	(1316)	(1314)	(1312)	(1310)	(1308)	(1306)	(1304)	(1302)
決心がゆらぐ	胃のしゅようを切除する	一芸にひいでる	ほうそう界の大物が集う弁護団	さわやかな風	つり船がおきに出る	街一面がしょうどと化する	かねの音がひびきわたる	ドアにかばんがはさまる	かいきように築かれたようさい

——部を漢字（送りがながある場合は送りがなも）になおし横に書きなさい。

(1339)	(1337)	(1335)	(1333)	(1331)	(1329)	(1327)	(1325)	(1323)	(1321)
くわしく説明する	へびにかまれる	穴をふさぐ	かしこい人	バブル景気がほうかいする	かべのペンキがはげる	どたんばで約束をキャンセルする	さらに使いやすくなった	かんぞうの病気	時代をちようえつする作家
(1340)	(1338)	(1336)	(1334)	(1332)	(1330)	(1328)	(1326)	(1324)	(1322)
若者のこようをしようれいする	現場をはなれる	たびをはく	そうほうの合意により解約する	株式をじょうとする	十万円をこえる額	海にもぐる	寒さにみぶるいする	みちばたにさく花	許しをこう

——部を漢字（送りがないがある場合は送りがない）になおし横に書きなさい。

(1359)	(1357)	(1355)	(1353)	(1351)	(1349)	(1347)	(1345)	(1343)	(1341)
はなむけの言葉をおくる	茶道のおうぎを極める	でこぼこした道路	せつとうはんとしてきそされる	パンが黒こげになる	泣いて目をはらす	とげがささる	こうずいで家がしんすいする	じゅもんを唱える	夜がふける
(1360)	(1358)	(1356)	(1354)	(1352)	(1350)	(1348)	(1346)	(1344)	(1342)
じょうだんが通じない	真情をとろする	かたずをのんで見守る	ふくめんパトカーによる取りしまり	ばせいを浴びせる	サンダルがぬげる	愛人にみつぐ	形式的な手続きにわずらわされる	きょうてい選手のユニフォーム	じゃがいもがそうがいにあう



——部を漢字(送りがながある場合は送りがなも)になおし横に書きなさい。

(1379)	(1377)	(1375)	(1373)	(1371)	(1369)	(1367)	(1365)	(1363)	(1361)
ちようばつで降格となる	卒業記念にきざうする品	ビタミンBのじようざい	話題がこうしようすぎて理解できない	自分の部屋にこもる	糸がからまる	約束をひるがえす	判決がくつがえる	毛穴が目立つあぶらぎったはだ	建物がかたむく
(1380)	(1378)	(1376)	(1374)	(1372)	(1370)	(1368)	(1366)	(1364)	(1362)
テーブルのあしが折れる	せきついてもうちょうの手術を受ける	態度が急にかたくなる	がいとうするこうもくを丸で囲む	人のまちがいをちようしようする	せいちような山の空気	親のすすめる人とお見合いする	スカートのたけを短くする	タンカーから原油をにあげする	あいびょうにあたえるキャットフード

——部を漢字(送りがながある場合は送りがなも)になおし横に書きなさい。

(1399)	(1397)	(1395)	(1393)	(1391)	(1389)	(1387)	(1385)	(1383)	(1381)
要 点 を お さ え る	外 国 か わ せ の 取 引	せ ん た く も の が か わ く	ゆ る や か な 下 り 坂	五 月 じ ょう じ ゅ ん の 平 均 気 温	あ い に く の 天 気 が う ら め しい	行 事 へ の 参 加 を し ぶ る	注 文 住 宅 の せ し ゆ	か た に そ つ と ふ れる	将 来 の 生 活 費 に あ て る 貯 金
(1400)	(1398)	(1396)	(1394)	(1392)	(1390)	(1388)	(1386)	(1384)	(1382)
こ く う を 見 つ め る	綿 を ぼ う せ き す る 機 械	へ ん き よ う な 性 格	失 敗 を お そ れ ない	自 分 の 発 言 を こ う か い す る	独 特 な ふ ん い き を か も し 出 す	じ ゆ ず を 手 に が っ し ょう 礼 拜 す る	酒 を く み 交 わ す	和 食 材 の お ろ し 問 屋	お れ と 旅 に で よう

——部を漢字(送りがながある場合は送りがなも)になおし横に書きなさい。

(1419)	(1417)	(1415)	(1413)	(1411)	(1409)	(1407)	(1405)	(1403)	(1401)
ひしゃくのえを持つ	ばち当たりなことをする	不満がばくはつする	早く相談したほうがけんめいだ	中国のかんり登用試験	その場からはなれる	そでぐちがほころびる	城下町の大通りにあるかじや	ガスや原油のまいごう量	お化けやしきでお客をおどかす
(1420)	(1418)	(1416)	(1414)	(1412)	(1410)	(1408)	(1406)	(1404)	(1402)
順調にかどうしている新システム	父の経営する会社をつぐ	海の幸にしたつづみを打つ	日本の侘 <small>わび</small> ・さびの美意識	北海道のしつげんに生息するつる	『ちんは国家なり』	政界のじゅうちん	弱い相手をあざける	一点差でせきはいする	おの短いねこ

——部を漢字（送りがないがある場合は送りがないも）になおし横に書きなさい。

(1439)	(1437)	(1435)	(1433)	(1431)	(1429)	(1427)	(1425)	(1423)	(1421)
葉の上 <small>に</small> きらめく朝 <small>つゆ</small>	四百年の歴史をもつ人形じょうり	約束を思い出しゆううつになる	頭をおう <small>だ</small> する	事故できおくそうしつになる	連勝をは <small>ば</small> む	世間知らずのおぼ <small>っ</small> ちゃん	おせい <small>ぼ</small> のギフト選 <small>び</small>	合格 <small>き</small> が <small>ん</small> のお札	能楽について <small>の</small> 知識は <small>か</small> い <small>む</small> だ
(1440)	(1438)	(1436)	(1434)	(1432)	(1430)	(1428)	(1426)	(1424)	(1422)
き <small>ば</small> を <small>む</small> くライオン	ちかく変動を観測する	郵便をかん <small>か</small> つして <small>いた</small> ていしんしょう	こは <small>ん</small> の美しい風景	ボールから目をは <small>な</small> す	屋根の <small>と</small> そうを職人さんにた <small>の</small> む	てい <small>ね</small> いな対応	ろう <small>ば</small> しんから言 <small>わ</small> せてもら <small>え</small> ば	もん <small>び</small> を閉 <small>ぎ</small> す	きり <small>の</small> か <small>か</small> った林

——部を漢字（送りがない場合は送りがない）になおし横に書きなさい。

(1459)	(1457)	(1455)	(1453)	(1451)	(1449)	(1447)	(1445)	(1443)	(1441)
ロギたなくののしる	通気性の良いあさのシャツ	つばさを広げ飛び立つ	ちよう兵検査でへい種の判定	ぬかりなく準備する	光にすかして見る	さわの水で手を洗う	感傷的な気分ひたる	わが子のようにいつくしむ	あいた口がふさがらない
(1460)	(1458)	(1456)	(1454)	(1452)	(1450)	(1448)	(1446)	(1444)	(1442)
ぞうりをぬぐ	やきんや製鉄技術の発達	犯行時は心神こうじゃくの状態だった	天然資源のとぼしい国	いそがしいほうが気がまぎれていい	入院する子どもに付きそう	翌日まで引き続きでつしょう勤務した	岸べきにげん側 <small>そく</small> を付ける	メモをはさむクリップ	ふくおう自伝

——部を漢字（送りがながある場合は送りがなも）になおし横に書きなさい。

(1479)	(1477)	(1475)	(1473)	(1471)	(1469)	(1467)	(1465)	(1463)	(1461)
あせをぬぐう	蚕のまゆから生糸を作る	くろうと筋からの評価が高い	げんかんのかたすみにおいておく	きょうあくはんにぎんさつされる	しょうぎばんの上のきょうしゃのこま	かかとのくつずれが痛い	晩秋のこさつめぐり	ハトよけのきひざい	はやりすたりに左右されない服
(1480)	(1478)	(1476)	(1474)	(1472)	(1470)	(1468)	(1466)	(1464)	(1462)
あやしい光を放つ宝石	能楽堂の新春うたいぞめ	しゅつらんのほまれ	あわててれんらくする	しが県	要求をこぼむ	コンビニが二けんある	商品にけっかんが見つかる	土地が金にかわる	喜びにたえない

——部を漢字(送りがない場合)は送りがないも)になおし横に書きなさい。

(1499)	(1497)	(1495)	(1493)	(1491)	(1489)	(1487)	(1485)	(1483)	(1481)
小さい花がすいじょうにさく薬草	はなはだ残念だ	人形じょうりの公演	遺伝子研究にふずいするりんり問題	たたみをしきつめた和室	コップをとだなへもどす	しつれんの傷がはいえる	父にならって飛行士の道に進む	自らをいやしめる行い	ちゅうせきそうのじばん強度を確かめる
(1500)	(1498)	(1496)	(1494)	(1492)	(1490)	(1488)	(1486)	(1484)	(1482)
熟したくわの実でジャムを作る	そうかいな気分	英語の文法をきそから学ぶ	あわいピンク色のマニキュア	だれもがうらやむ美人	しめたじゃぐちから水がもれる	キャラメルをひとつぶ口に入れる	ベッドでねむる男の子	おうえん合戦で旗をふる	はたちをむかえての心境

―部を漢字(送りがながある場合は送りがなも)になおし横に書きなさい。

(1519)	(1517)	(1515)	(1513)	(1511)	(1509)	(1507)	(1505)	(1503)	(1501)
くうらんをうめて熟語を作る問題	銀食器をみがいて手入れする	辞書の記号の意味をはんれいで調べる	金にあかして美術品を収集する	不正な取引にいきどおりを覚える	ほにゆうびんをしゃふつ消毒する	食べ残しのにものをくさらす	しのび足で部屋を出る	暴動をしずめる	川に大量のものが発生する
(1520)	(1518)	(1516)	(1514)	(1512)	(1510)	(1508)	(1506)	(1504)	(1502)
天皇陛下からおんしのたばこをいただく	天皇陛下のじじゅうを務める	理事会にはかつて決める	全国をあんぎやする	ふきつな予感がする	制度および組織の見直し	おかの中腹にあるどうくつ	トンネルをほる	くまよけのすずをつけて山に入る	個人情報がるまるはだかになる



——部を漢字（送りがないがある場合は送りがないも）になおし横に書きなさい。

(1539)	(1537)	(1535)	(1533)	(1531)	(1529)	(1527)	(1525)	(1523)	(1521)
いこいのひととき	コンサートで演奏をしんけんにきく	すました顔で答える	そうそふが亡くなる	おしゃれにうとい兄	車体がかたがたとしんどうする	子どもをねかす	記事をしっぴつする	えんこんによる殺人	上司をけむたがる
(1540)	(1538)	(1536)	(1534)	(1532)	(1530)	(1528)	(1526)	(1524)	(1522)
原因不明の病とたたかう	パスタにソースをからめる	水に砂糖をとかす	ゆるぎない信念	登録をまっしょうする	明智光秀 <small>あけちみつひで</small> がおほんを起こした	絵をかくのがしゆみだ	まゆげが太い男性	竹のちかけいが広がるじばん	仲間と手をたずさえ共に歩む

——部を漢字（送りがながある場合は送りがなも）になおし横に書きなさい。

(1559)	(1557)	(1555)	(1553)	(1551)	(1549)	(1547)	(1545)	(1543)	(1541)
となりの家の庭	じょうとう式におなふだを取り付ける	転んだひょうしに頭を打つ	敵のがじょうにせまる	南アルプスの北だけに登る	にわとりが卵を産む	いはつをつぐ	息子とさかずきを交わす	卒業後の進路になやむ	化けの皮がはがれる
(1560)	(1558)	(1556)	(1554)	(1552)	(1550)	(1548)	(1546)	(1544)	(1542)
あせて失敗する	いおうをさいくつする	たいくつをまぎらす	そやなふるまい	サケが川をそじょうする	問題解決のためのだいたいあんを出す	みけんにしわを寄せる	ライバルをおとしいれるひきような手口	くちたつり橋	百 <small>くだら</small> 濟より日本にこよみが伝来した

——部を漢字(送りがながある場合は送りがなも)になおし横に書きなさい。

(1579)	(1577)	(1575)	(1573)	(1571)	(1569)	(1567)	(1565)	(1563)	(1561)
ドーピングでメダルをはく <u>だつ</u> される	おじとおばが出席する	いきな計らい	じじんして果てる	男み <u>ようり</u> につきる	のうむのため国内便が欠航する	こうみ <u>よう</u> な手口	団体への加入をすすめる	信念をつらぬく	小切手を現金にかえる
(1580)	(1578)	(1576)	(1574)	(1572)	(1570)	(1568)	(1566)	(1564)	(1562)
雨に <u>け</u> むる街	異常気象と日本のあね <u>った</u> い化	けんしを用いた <u>せん</u> い製品	将来も変わらぬ友情を <u>ち</u> ぎる	最新技術をく <u>し</u> する	よく <u>ぎん</u> みした品	神をおそれ敬う <u>しん</u> こう心	くつが <u>ゆる</u> い	一か月のろうじ <u>ょう</u> の後、 <u>こう</u> ふくする	レンガ製造の <u>よう</u> ぎ <u>ょう</u> を営む

——部を漢字(送りがない場合)は送りがないも)になおし横に書きなさい。

(1599)	(1597)	(1595)	(1593)	(1591)	(1589)	(1587)	(1585)	(1583)	(1581)
やかんで湯をわかす	ことをはんばいする和楽器の店	きょうきんを開いて語り合う	ぎょうてんして口がきけなくなる	進退きわまる	トンネルがかんつうする	サウナスーツのはっかん作用	かやの外に追いやる	ゆるるおとめごころ	めいよをけがすこーい
(1600)	(1598)	(1596)	(1594)	(1592)	(1590)	(1588)	(1586)	(1584)	(1582)
ライバルをうとましく思う	たたみがかわり、きれいになる	ピアノをひく	ノートの切れはし	ようしたんれいな女性	社名の入ったわんしょうをつける	よれいが鳴ったので教室に入る	となり合って座る	ひとふさのぶどう	バランスをくずす

——部を漢字（送りがながある場合は送りがなも）になおし横に書きなさい。

(1619)	(1617)	(1615)	(1613)	(1611)	(1609)	(1607)	(1605)	(1603)	(1601)
安定的に資産をふやす	危機感がけつじよしている	紅葉が美しいきんしゅうの古都	ぎょうてんの星のごとし	おおせの通りに従う	たくえつした技術にきょうたんする	たんせいなびもく	たんすの角につまさきをぶつける	きゅうていにしこうする	全力でかけぬける
(1620)	(1618)	(1616)	(1614)	(1612)	(1610)	(1608)	(1606)	(1604)	(1602)
ねんれいをたずねる	ギャンブルで身をほろぼす	すもうを取る	暗殺をはかる	ゆうがなまいを見せる	うわきがばれる	酒におぼれる	足音がひびくやすぶしんのアパート	すいじ用に使うしんたん	土地の所有権をおかす

——部を漢字（送りがながある場合は送りがなも）になおし横に書きなさい。

(1639)	(1637)	(1635)	(1633)	(1631)	(1629)	(1627)	(1625)	(1623)	(1621)
こがらしがふく寒い夜	広くこうこに問いかける	新聞を折りたたむ	いどの水をくむ	快勝して首位にふじようする	からくさ模様のふるしき	池の水がこおる	アメリカの大規模ないなさく	満開のふじの花	温泉のこいしい季節
(1640)	(1638)	(1636)	(1634)	(1632)	(1630)	(1628)	(1626)	(1624)	(1622)
みぞうの大災害	一筆しめす	高さ三十五メートルのだんがい	なべにふたをする	勢力がきんこうした状態	人気にかげりが見えはじめる	思わぬ臨時収入でふところが暖かい	川をへだてた向こう側	あと一手でつんでしまう	ネクタイをしめる

——部を漢字(送りがながある場合は送りがなも)になおし横に書きなさい。

(1659)	(1657)	(1655)	(1653)	(1651)	(1649)	(1647)	(1645)	(1643)	(1641)
い い だ く だ く と し て 従 う	宝 石 を け ん ま す る 機 械	古 材 や う も れ 木 で 作 っ た 家 具	○ ○ 株 式 会 社 人 事 部 長 ど の	う れ い に し ず ん だ 顔	こ っ け い な し ぐ さ	あ わ て て ほ ら あ な へ に げ こ む	り ふ じ ん な 要 求	し ぶ い お 茶	前 例 を と う し ゆ う す る
(1660)	(1658)	(1656)	(1654)	(1652)	(1650)	(1648)	(1646)	(1644)	(1642)
な め ら か な 動 き	よ く な つ い た 子 犬	こ う げ を 手 向 け る	と ぎ ん ぐ つ 専 門 の せ い か メ ー カ ー	夕 景 の 素 晴 ら し さ に え い た ん す る	先 祖 の み た ま を ま つ る	テ ン ト 生 地 の さ け 目 を 補 修 す る	大 正 天 皇 が ね む る 多 摩 み さ さ ぎ <small>たまの</small>	城 の ひ よ う ろ う が つ き る	温 泉 の ゆ う し ゆ つ り よ う

——部を漢字（送りがながある場合は送りがなも）になおし横に書きなさい。

(1679)	(1677)	(1675)	(1673)	(1671)	(1669)	(1667)	(1665)	(1663)	(1661)
法律をたてにとる	なつかしさに思わず目がうるむ	古布をさいて布ぞうりを作る	ポールがしんしゆくする収納ラック	おどりのふり付けを覚える	すいとうと小麦の二毛作	前回の議論をふまえ修正する	じゆんたくな資金	せきとして声なし	業をにやす
(1680)	(1678)	(1676)	(1674)	(1672)	(1670)	(1668)	(1666)	(1664)	(1662)
二ひきの犬が橋をわたる	火の手がしずまる	つめをかむくせ	ピストルにたまをこめる	激しいにくしみを感じる	そうえんでしゅうかくしたくわの葉	成績がふるわない	救いの手をのべる	おまわりさんにあいさつする	しぶがきのおいしい食べ方



漢字テスト【書き】(85)

1130字  
中学・高校

——部を漢字(送りがながある場合は送りがなも)になおし横に書きなさい。

(1700)	カジキつり大会でちようかを競う
(1691)	日本のこくじがおされた証書
(1689)	誤解を招くおそれがある
(1687)	心にくい演出
(1685)	祝言でうたわれるようきよく
(1683)	かたくり粉を水でとく
(1681)	物価じようしようをおさえる

Blank area for writing the kanji characters corresponding to the words in the table above.